



▲令和2年2月16日 卒業生壮行会の前に撮影

令和2年3月、南豫明倫館から9人が社会に巣立った。「念願の会社に入った。有意義に時間を使いたい」「愛媛に貢献したい」一夢は膨らむ。共同生活で培った経験や育んだ友情は、必ず実社会で役立つと確信している。

2月16日には南豫奨学会が壮行会を開き、卒業生を激励した。卒業生は楽しい思い出を振り返りながら、後輩たちに「時間を無駄にせず、いろんなことに挑戦してほしい」と期待を寄せた。



卒業生の言葉

社会貢献できる人材目指せ 2年3月「夢を胸に」9人が旅立ち

卒業生氏名 (大学・学部・出身地)

進路

1 将来の抱負

2 後輩への助言

朝井 和哉 (法政大学・文学部・伊方町)

日本交通 (株)

1 私の入社先は東京都を営業区域とするタクシー会社となりました。将来は、たくさんのお客様を安全・安心に目的地へ送り届け、東京の自動車交通を支えていきます。

2 大学生活の四年間は思っている以上にあっという間です。学業やバイトに勤むのもよいですが、遊んで遊んで遊びまくって、後悔のないようにしましょう。

宇都宮 靖之 (日本大学大学院・理工学研究科・八幡浜市)

(株) シタテル (IT企業)

1 将来は多くの人たちに使ってもらえるプロダクトを開発したいと思っています。変わりゆく技術の中でずっと残り続ける物づくりをしたいと思っています。

2 色々大変な事も多々あるとは思いますが、人との出会いを大切に充実した大学生活を送っていたけると幸いです。ツライ事もあると思いますがガンバってください。

栗山 一輝 (東京大学・教養学部・宇和島市)

1 大学院進学 (予定)

現在進めているスポーツ科学の研究を大学院でさらに深め、将来はスポーツ企業の研究職に就きたいと考えています。話題の厚底シューズのような革命を起こすことが夢です。

2 今の下級生たちは横のつながりが強いようですが、縦のつながりを絶やさないよう。僕は先輩方から多くのことを学びましたし、後輩にも何か残せていたら嬉しいです。

黒田 悠介 (明治大学・法学部・西予市)

四国地方整備局

1 大学三年時に、将来は地元で働きたいと思うようになり、四国での就職を決意しました。事務作業を通じて四国のインフラ整備や災害対応に貢献していきたいと思っています。

2 私は寮内で過ごす時間が長く、その分充実した寮生活を送ることができました。しかし、もっと外で遊べばよかったという後悔もあります。外に出て色々な経験をして下さい。

近藤 慎太郎 (早稲田大学・基幹理工学部・宇和島市)

日本航空

1 念願の航空業界で働くことになりました。新社会人として緊張していますが、好きなことに挑戦できることをうれしく思います。健康に気をつけ、有意義に時間を使いたいです。

2 四年間お世話になりました。寮で四年間共同生活をしたことは必ずプラスになります。先輩・OBに頼って、これからもいろんなことに挑戦していきましょう。

中川 智也 (東京大学・文学部・松山市)

武蔵コーポレーション (株)

1 既成の概念に捕われない自立した人間になります。その過程で関わっていく人々への感謝の気持ちを忘れず、専門知識を以って還元していきたいです。

2 日々新たなことに取り組み、刺激的で楽しい学生生活を送ってください。そのためのヒントは、いろいろな人に会ったり、場所を訪れたりすることで得られるはずです。

村上 裕一郎 (一橋大学・法学部・松山市)

伊予銀行

1 伊予銀行に就職します。目の前のことに一つずつ真摯に取り組む、少しずつ地元へ貢献できる人材になっていきたいと考えています。目指すは頭取!

2 明倫館と各大学の先輩を頼って、学生に不足しがちな社会への見識を深めるのがいいと思います。先輩を丸の内や豊洲に呼び出し、飯を奢らせ、会社への愚痴を聞き出そう。

八十島 惇 (東京海洋大学大学院・海洋科学技術研究科・松野町)

就職活動中

1 自分のキャリアプランをしっかりと考え、社会貢献できるようにしたいと思います。

2 学生生活は長いようで短いものです。自分の目標に向けて悔いのないように過ごしてください。

集団生活は協調性が大事

令和元年度後期自治会委員長 三浦 大

寮生全員には今一度、南豫明倫館は共同生活だということを再認識してほしい。

南豫明倫館はアパートやマンションのようなものではなく共に集団生活を送る学生寮である。この数年で寮生の人数も増え、お互いが仲良くそれぞれの生活を送っている。さらに「寮の伝統」という名の悪しき風習は無くなり、寮の雰囲気は変わった。しかし、それと同時に今までは見えなかった集団生活においてデメリットとなるものも見えてきている。

緊張感、協調性の欠如である。現在、南豫明倫館では、三十名以上の寮生が生活している。その中にはスポーツの得意な者、勉強のできる者、朝型・夜型の者、文系・理系とその他それぞれ、こ

の小さな空間の中にも多様性は存在している。多様性に触れる時、理解と妥協を混せて考えてはいけないと思っている。「あの子は夜うるさいから自分が我慢すればいいや」「あの子は自分が汚した後を綺麗に片付けられないから僕がやってあげよう」

このようになっては絶対にダメである。妥協はその人への優しさではない。この点においては、その人が他者への迷惑に気づき自省する機会を与えてあげることが優しさである。そして、協調性にも気づき始める。お互いに言い合える関係はマンションなどではまず存在しない。人間関係において思いやり、協調性、助け合いは重要なことである。この重要なスキルを身に付けるため寮生同士で気付け合い成長してほしい。

また、前述したようにこの小さなコミュニティの中には多様性が存在している。それぞれ違う大学に通い、異なる専門分野を学んでいる。また、育ってきた環境、見てきたもの、考え方、自分の経験したことの無いようなことを経験している者と、十人十色である。ぜひこの機会にこれらの多様性に触れ、良い部分は見習い、悪い部分は反面教師としてそれぞれの教養としておいてほしい。

文頭にもあるように南豫明倫館は学生寮であって、アパートやマンションではない。アパートやマンションではできない、多様性に触れ、お互いの悪い部分を気付かせ合うような学生寮の良い部分を最大限に活用してほしい。また、それぞれとの関係を深くし卒業後も続くようなものとしてほしい。最後に、この充実した環境を月額五万五千円で生活できることを可能にしてくれている南豫奨学会や保護者、OBなどの皆さまへの感謝の気持ちを忘れずに日々生活していきたい。

(東京農工大四年)

令和元年度後期自治会

委員長	三浦 大
副委員長	上田 俊希
〃	赤松 智彦
風 紀	小野 薫
会 計	渡森 史郎
企 画	伊藤 祐基
広 報	近藤幸太郎
情 報	和田 真輝
整 備	黒澤虎之進

小金井・第16回野川駅伝大会
南豫明倫館が準優勝

栗山が3回目区間賞、2位は上田



小金井市の第十六回野川駅伝大会が令和二年一月十九日あり、南豫明倫館は一般の部(高校生以上)に出場、健闘が実り1時間9分39秒で見事準優勝を飾った。

一般の部は6区間全18キ(1区間3キ)で競われ、30チームが参加。南豫明倫館は、昨年、参加チームが多く出場できなかったが、一昨年同期惜しくも2位だった。平成二十五年の初出場以来これまで四回の成績は、2位三回、3位一回だった。

チームは栗山一輝(東京大)、関碧人(大正大)、近藤幸太郎(武蔵大)、伊藤祐基(駒澤大)、宇都宮栄一(日本大)、上田俊希(東京学芸大)の六人編成。

明倫館勢の区間総合順位では、栗山が9分33秒で三回目の1位となり、上田が2位に入った。



健闘した(左から)上田、宇都宮、伊藤、近藤、関、栗山の各選手



公益財団法人 南豫奨学会 「奨学金支援会」だより
ご寄付いただいたお礼とご報告

公益財団法人南豫奨学会・奨学金支援会

理事長・会長 伊達 宗信

平素は皆様方には公益財団法人南豫奨学会と南豫明倫館の運営にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、南豫奨学会の平成三十一(令和元)年度の「奨学金支援会」には、令和二年三月三十一日現在、八十名(一市三法人を含む)の方々から百六十二万五千八百五十九円の支援金をお寄せいただきました。皆様方のご厚意に感謝申し上げます。来年度から該当者が一名(二年間)おり、すべて向学心にあふれる寮生の奨学金として貸与させていただきます。

南豫奨学会の奨学金貸与は、本年度までに三十二人、総額五千六百八十万円の実績を挙げました。しかし、奨学金貸与の基金としてはさらに充実させなければならない使命と考えております。つきましては、何かとご出費の多い折から、まことに恐縮至極に存じますが、本趣旨をご高察のうえ、格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

奨学金と金の基金となる年会費として、一口(普通会員一万円、特別会員〓南豫奨学会評議員・監事・理事二万〓三万円、法人会員五万円)以上のご支援を賜れば幸甚に存じます。未来を担う人材の育成すなわち教育こそ郷土発展の基礎だと確信しています。

郵便振込口座番号 〇二五〇二二九六五三

名義 「南豫奨学会奨学金支援会」

令和元年度に寄付をいただいた方々
(平成31年4月1日〓令和2年3月31日)
敬称略・寄付日付順

黒田 耕一・松影 通男・岡本 健
芝 壽志・酒井 利長・新津 昌雄
大谷 勝俊・鈴木 泰三・坂本 昭彦
石田 則雄・藤田 元信・木戸 英紀
今村 敬・三浦 成毅・中島 仲義
宇都宮栄治・清家 學・上田 城生
伊藤 健二・河野 秀康・村尾 明弘
水口 重仁・菊地 史晃・山宮 満安
玉留 一・岡添 弘・廣瀬 益久
岡山 三治・山本 雄大・横山 敏彦
渡辺 昭・渡辺 英雄・横山 和郎
原田 雅仁・浅田 勇介・田中 公興
瀬戸 和子・榎山田屋・菊池 重紘
佐々木正史・入江 伸明・石山 豊城
清家 健介・玉井 頼子・伊達 宗信
栗林 秀典・山田 英次・竹田 重仁
渡森 博史・藤田 武博・菊池 秀明
猪原 英彦・山瀬 達郎・赤松 志朗
関本 貢・菊池 文孝・古谷 和重
赤松 等・宇都宮高明・(株)テレビ愛媛
土居 英雄・増原 恵輔・中川 和美
朝井 達也・宇和島市役所・伊予銀行
佐渡 吉晴・梶谷 利秀・平林 吉彦
矢野 順二・藤田 和仁・和田 慎二
児玉 雅人・新津 昭雄・本田 裕幸
戸梶 學・別宮 興仁・横田 弘之
松本 學・安村 弘紀

編集後記

▼南豫明倫館は年度替わりになると、いろいろな思い出を残してくれた卒業生が去り、初々しい新入寮生が仲間入りする。寂しくもあり、うれしくもある。

▼もう五十年がたつが、私の明倫館時代にはいろんな性格の寮生がいた。世間知らずややんちゃ、わがままも。でも大概は素直だった。集団生活で規律を学び社会常識を身につけて卒業していった。

▼今の寮生はどうか。どうも素直すぎて、物事に無関心を装うくらいがある。若者の特権は「チャレンジ精神」だ。失敗を恐れてはいけない。本に親しみ、たくさんの人と積極的につき合う。そして好奇心を持って行動すれば世界はどんどん広がる。

(戸梶)

平成31(令和元)年度支援会募金状況 (令和2年3月31日現在)

	募金数	金額(円)
一般	1人	9,850
現・元保護者	20人	286,535
法人	3社	169,380
市	1市	50,000
O B	16人	202,295
評議員・審議員	21人	440,968
理事・監事・元役員	18人	466,831
合計	80(人・社・市)	1,625,859

※ 選定委員は評議員・審議員に含みます。
東京都の指導で郵便振込料を差し引きました。